

「幕開けを担った恵那が、繊細かつ奥行きのあるピアノッシモで聴衆の心を優しく目覚めさせた。」(2024(令和6)年10月27日朝日新聞掲載大会総評より)

全日本合唱コンクール岐阜県大会で団体Aグループ(6~32人)金賞、続いて同中部大会に出場し金賞、中部支部から桜花学園(愛知)とともに全国大会出場の推薦を得た恵那高音楽部が10月26日第77回全日本合唱コンクール全国大会に出場し銅賞を得る事ができました。

冒頭の総評は、主催者の最大かつ最高の評と言って良いのではないのでしょうか、出場者はもとより大会主催者・聴衆のいずれもが不安と緊張の中、「ピアノッシモで優しく心を目覚めさせた」のです。

同新聞紙面には、初出場高の紹介もあり副部長・部長・顧問の言葉から目標に向け、謙虚にひたむきに取り組む音楽部の姿とともに学校全体の姿が感じられました。